

## 第28回 放送番組審議会 議事録

■開催日：2015年3月27日（金）10:30～13:30

■場所：札幌グランドホテル 層雲の間

■出席者：番組審議委員6名中5名出席（1名欠席）

①山本 強（会長）北海道大学 大学院 教授

②星野 尚夫（委員）札幌観光協会 会長

③讃良 美規（委員）ラ・ウィル 代表取締役

④野々村芳和（委員）北海道フットボールクラブ代表取締役社長

⑤成田寿美子（委員）MC ミューズ代表取締役

J:COM 札幌 代表取締役社長 古賀祐治

J:COM 札幌 札幌メディアセンター長 丸本 靖

J:COM 札幌 札幌メディアセンターマネージャー 坂本 貢

J:COM 札幌 管理部（事務局） 雨尾俊英

### 記

#### 1. 開会の辞（山本会長）

#### 2. 当社代表挨拶（古賀社長）

#### 3. 出席者自己紹介（各委員）

自己紹介、近況報告

#### 4. 当社の近況報告

①J:COM札幌の対象世帯・加入世帯数の推移

②J:COMグループ全体の加入世帯数の推移 ※4/1付にて旧JCNグループと統合

③2014年6月～11月における北区（約68,000世帯）のサービスエリア拡大

⇒札幌市内のエリアカバー率81%となる。（サービス対象世帯数：750,000世帯）

（2015年度は、更に45,000世帯のサービスエリア拡大予定）

④コミc h視聴可能世帯数は465,000世帯となり、札幌市内半数以上の家庭で視聴されているため、これをどのように活用して地域貢献できるかを考えなくてはならない。

⑤番組基準に抵触（スペースシャワーTVの光点滅）に関する行政指導の報告

#### 5. 当社の番組編成について

##### （1）放送形態の変化

コミュニティチャンネルは2チャンネル体制となっており、10chの第2コミchの名称を「J:COMテレビ」として全国放送を、11chの第1コミchの名称を「J:COMチャンネル」として地域情報番組を放送している。これら2つのチャンネルを持っていることは、当社としての強みであり、優位性と考えている。（2015年2月現在、「J:COMテレビ」の視聴可能世帯数は全国で約1,300万世帯。「J:COMチャンネル」の札幌市内視聴可能世帯数は約465,000世帯）

また、総務省の指導により、緊急受信速報が画面上に文字スーパーで強制表記となっているほか、法定同録装置も導入し92日間番組を保存することになっている。

## 6. 全国統一生放送番組 ～10ch「J:COMテレビ」にて“J:テレストایل”好評放送中。

全国統一生放送番組枠としてスタートし4年目を迎えた。J:COM全国70局1,300万世帯に放送中。J:COMテレビの目玉として定着。番組は月曜から金曜 昼12時00分から1時間、東京スカイツリー内J:COMワンダースタジオから生放送。司会進行：有村 昆(タレント・映画評論家)ほか。

## 7. 自社制作番組 ～11ch「J:COMチャンネル」のレギュラー番組と特別番組

### (1) さっぽろインフォメーション (10分番組)

市内の様々なイベント情報に加えて、北海道警察、札幌市消防局のほか北海道広報課、札幌市広報課の協力を仰ぎ、「広報だより」のコーナーもあり。

### (2) ファッションストリート (30分番組)

札幌の旬なファッションを伝えるトレンド・プログラム。バラエティ・パブリシティ番組の先駆けとして、特に若い年代層に支持されている人気の長寿番組。

### (3) J:COM カルチャーステージ (60分番組)

札幌市内の高校・大学の吹奏楽部の定期演奏会を放送する。地上波放送では見られない地域文化活動の紹介。3月は、北海高校吹奏楽部の第11回定期演奏会。

### (4) GO! コンサドーレ (30分番組)

コンサドーレ札幌応援番組。札幌ドーム開幕戦取材や選手の素顔も紹介。コンサ情報も満載。番組ナビゲーターは元日本代表FW元コンサドーレ選手の吉原宏太さん。

### (5) さっぽろ見聞録 (15分番組)

札幌市内の歴史的建造物などを紹介するミニ紀行番組。場所や名所だけでなく、サークル紹介などを通して、その地域で元気に暮らす市民も紹介する。

### (6) 四季食彩 (10分番組)

毎回テーマを決めて、市内の美味しいお店を紹介するグルメ番組。問い合わせも多く番組として定着してきた。B級グルメ的な札幌の食を紹介。

### (7) ぶらりお散歩カメラ (30分番組)

写真共有サイトと連動した画期的番組。Facebookページには、撮影当日の様相や番組最新情報が満載。北海道を代表するタレント木村愛里さんが番組ナビゲーター。

### (8) 特別番組

- ・2014年6月から11月まで 札幌市内中学校職業体験受け入れ (市内33校 202名)
- ・2014年8月 さっぽろ旭山音楽祭 さっぽろ旭山記念公園を舞台に市民音楽祭を制作
- ・2014年9月 J:COM旗争奪札幌市長杯少年軟式野球大会 番組制作  
(今年度から始まった新企画番組)
- ・2014年10月 札幌マラソンダイジェスト番組  
同時にインターネット回線Uストリームを使ってLIVE放送
- ・2015年2月 第66回さっぽろ雪まつり特別番組 生中継。「J:COMひろば」から全国1,300万世帯に生放送。大通会場1丁目・6丁目、すすきの会場から生放送。初めての夜の生放

送番組となり、今までにない「絵作り」が可能となり好評を博した。特別ゲストに大御所「美川憲一さん」を招いて北海道の魅力を全国に紹介した。

- ・2015年4月放送予定「けーぶるにつぼん」企画 4K制作「湿原の神 タンチョウと生きる」全国のCATV局で2Kダウンコンバートで放送

#### (9) 特に人気のあるチャンネル

プロ野球の北海道日本ハム戦、今年もGAORAで完全放送。北海道日本ハム戦の74試合（北海道日本ハム主催試合72試合、その他主催試合2試合）を試合開始から終了まで完全放送。その他、Jスポーツでは、広島戦、中日戦、オリックス戦、楽天戦の主催ゲームを完全放送⇒昨年まで、オリックス戦、楽天戦はFOXスポーツで放送、このほか、サッカーも含めてFOXスポーツで放送していたコンテンツが、多数他のチャンネルに移行。

### 8. 質疑応答・番組に対する意見交換

<委員長> 昨今のComichは、日中にメジャー映画をいれるなど内容は格段に充実してきた。メジャーコンテンツは顧客の吸引力があり重要である。また、今後の4K放送についても、その対応窓口として有力な媒体と考えられる。

また、CS放送では、ディスカバリー、ナショナルジオなどのドキュメンタリーをよく視聴するが、以前なら科学や自然、歴史に特化した内容であったところ、最近では視聴者の高齢化を考慮してなのかアンティークやモノづくりなど、番組の幅が広がってきている。今後のCS放送の編成方針も変化してくるであろう。

更に、視聴方法も、テレビ（放送）からネット（通信）に移行してくるかもしれない。

<J:COM> 4Kは今が旬。量販店では4Kテレビが販売されているが、本当の意味での4K放送（コンテンツ）は放送業界では不足している状況。BS放送では、2016年リオ五輪をターゲットに4K放送を準備していると聞いている。一方、CATV業界としては、4K対応STBによる実用放送を2015年度中に開始するスケジュールで動いている

<委員> 世の中では、4Kや8Kと盛んに言われているが、実際問題として本当にそこまで必要なのか？ スポーツでも人の汗が飛び散る場面は臨場感があるが、汗の粒まで見えるのもいかなものか。

<委員長> 現在のHD（2K）から4Kに代わるということは、DVDからブルーレイに変わった時と同様に、画質の繊細度に加えてダイナミックレンジの幅、いわゆる白（明るさ）の差が著しかった。技術的には、8Kになると高精度やレンジは増すが、人間の目で見てどこまで違いが判るのか、テレビにそこまでを求めるかというのは別の問題。放送というより、アーカイブ（記録）としてより良い質で保存するという意味では8Kは有効である。

<J:COM> 制作側としても、4Kのカメラ技術や撮影方法は今後の課題である。先にも触れたが、当社としても、CATV連盟の企画で「湿原の神 タンチョウと生きる」という番組を4Kカメラで制作した。4月から放送予定。

<委員> さっぽろ雪まつりはもとよりオータムフェストなどは、道外への観光客誘致プロモーションを行っているが、J:COMテレビを利用することも一つの方法。

- <J:COM> 6月以降、自主制作番組「GO!コンサドーレ」についても、現在の月一回更新から、月2回更新に変更することを予定しており、更には毎週更新も視野に入れている。軽くて小さい機動性のある放送機材も出てきており、機動力が増して来る。北海道、札幌への観光客誘致の点でも、協力貢献していきたい。そして、是非とも当社の全国放送のコミ c h「J:COMテレビ」を使っていたきたい。
- <委 長> 「J:COMテレビ」か「J:COMチャンネル」か定かではないが、テレビショッピングが多く目立つ。定点カメラを設置して、コンサドーレのグラウンド練習風景を映したり、道路の混雑状況を伝えたり、今も昔もニーズがあることに変わりはないと思う。
- <委 員> 野球やサッカーのみならず、他のスポーツでも、メディアの露出は、チームの運営に大きな影響力がある。
- <委 員> 地元のファイターズやコンサドーレ選手の密着も面白い。手を振ってくれた選手や握手をしてくれた選手がいれば、応援したくなり、Fanとの関係構築がサポーターの開拓にも繋がると思う。
- <委 員> 特殊な視聴方法だが、ファイターズの試合は、録画をして見る。勝った試合なら後から安心して見れるから。反対に負けた試合なら見ないで消す。LIVEでは見ないという、こんな見方をしている視聴者もいる。
- <J:COM> EPGの普及によりタイマー録画は楽になったが、一方で紙媒体の番組表（ガイド誌）も必要不可欠。時代は変わっても紙媒体は今後も継続する予定。因みに、番組表（ガイド誌）の発行部数は全国で300万部近くあり、月刊誌としても広告媒体としても相当な数。
- <委 員> J:COMのリモコンは、日本製テレビのリモコンに比べて、ボタンが小さく使いづらい。
- <委 員> 最近の番組は、映画でも情報番組でも字幕が多くなって、音声聞き取りづらい年配者にとっては有りがたい。古い番組でもドラマでも、同じように字幕をつけることはできないものか。
- <J:COM> 本編に字幕を入れることは難しいが、テレビ画面下に別枠で文字を表示させることは技術的には可能。ただし、コスト面も含めて様々な課題があるので、今後考えていく。音声がなくとも映像だけで理解できるような番組づくりが大前提なので少しずつ改善していく。

## 9. 昼食

「2014年度放送番組のダイジェスト版」を視聴しながら昼食。

## 10. 閉会

以上